

くにおんアイドル『どるちえるの軌跡』

今井優伽（音楽情報・社会コース4年）
石井英里加（音楽情報・社会コース4年）

研究の経緯

私たちは昨年度の音楽学会合同研究発表会において『アイドル』についての発表を行いました。アイドルについて知り、話し合うことで学びながら、発表会に向けてポップな図書館の展示を行ったり、研究発表会にご当地アイドルとヲタクの方を招いてライブを開催したりと前代未聞の活動を行ってきた一年でした。そこから、今年度はより実践的な活動を行うことでアイドルの実態を知り、社会の中のアイドルという存在の意義ややりがい、活動をしていく大変さや楽しさを実感したいという思いもあり、思い切つて『アイドルをプロデュース』することを研究課題とすることにしました。

『どるちえる』の誕生

アイドルグループを結成する前にまず進めたことがコンセプトづくりです。ゼミの担当教員である吉成先生と話し合い考えていく中で、初音ミクの『千本桜』や、サクラ大戦の『激ノ帝国歌劇団』、でんぱ組.incの『ちゅるりちゅるりら』などの映像にインスピレーションを受け、『大正ロマン』『二次元』『和風モダン』といったキーワードをあげながら、数あるアイドルのジャン

ルの中でも未だ出てきていない『和風なアイドル』をコンセプトとすることに決めました。学内に張り出したポスターでメンバー募集を行い、5名で結成したグループが『どるちえる』です。メンバーとそれぞれの担当カラーは、山田杏菜（若竹色）、見目詩織（桃花色）、山崎琳（菫色）、荻島朱理（赤紅色）、今麻耶（黄檗色）となっています。グループ名の由来は音楽用語にもなっている「dolce」からきており、そこにコンセプトである「和」を取り入れるため、見た目にも少し変化を加えた『どるちえる』になりました。



宣材写真は新1号館で撮影

『ファミマ前お披露目ライブ』

7月20日（火）18時より学内のファミリーマート前にあるミニステージにて、『どるちえる』のお披露目ミニライブを行うことになりました。披露した楽曲はメンバー

のそれぞれがグループのコンセプトである、「和」を意識した既存のアイドル楽曲から選びNMB48の「HA」に決定。ダンスと生歌での披露を目標に本番に挑むことになりました。

本番までの練習は、お昼休みや授業の空き時間などを利用して調整しながら行ないましたが、結成から本番までの期間に練習場所を確保することができなかったため、メンバーたちは校舎の窓を鏡にして振付けやフォーメーションの練習を進めていきました。

また、その日の練習に参加できなかったメンバーのために、練習の様子やダンスの振り付けを動画で撮影し共有するなど、メンバー同士で積極的に支え助け合つて結束を固めていきました。屋外でのパフォーマンスという事で事務局の方に当日の演奏の許可を申し出、パフォーマンス可能な時間等の配慮について相談のうえ本番の日時が決定しました。何度も『どるちえる』についての相談に行っているうちに事務局の方にも早くからこの活動を知ってもらい、どの職員の方にも笑顔で対応していただいたことがとても嬉しく感じました。当日の機材のセッティングは事務局の方に行なってもらうことになり、ラジカセを使つての音源再生と

いうことで、ラジカセを貸して頂きました。結成して間もなく、SNSサイトでの宣伝も行ってきたため僅かの期間で知名度は上がり当日は多くの観衆を前にパフォーマンスをすることができました。



芸術祭でのパフォーマンス

芸術祭は特に力を入れたイベントでもあります。本番までの1か月は毎日が練習の日々でした。私たちは、和を意識した衣装づくりとしてオリジナルTシャツやスカートの制作、楽曲編集、宣伝用チラシの依頼、練習場所の確保、リタクパフォーマンスの練習などの準備を主に行いました。11月3日(火)14時より第1野外ステージにて本番を迎え、たくさんのお客さんの前でパフォーマンスを披露することができました。MCを挟み、一生懸命頑張りがら時折初々しい笑顔を見せる彼女たちの姿がとても可愛らしく印象的だったと感じています。ライブの後は第2野外ステージにて先着でメンバーとの「チエキ撮影会(無料)」も行っています。

ます。またアイドルという存在がいる上でファンの存在はとても大切だという思いから盛り上げ隊として『オタクパフォーマンスグループ』も結成し、頑張りました。

オリジナル曲の募集

音楽大学ということもあり、学内から『どるちえる』のオリジナル曲を募集することを計画しました。宣伝はチラシ、SNSを通して行い曲のみの募集です。募集内容はコンセプトである「和」をテーマとした5分以内のもので、応募がしやすいようメロディーのみの応募やメロディーに簡単なコードを付けたものの応募でも可という作曲のハードルをやや下げた募集を行っていきました。この募集によつて3曲の楽曲提供があり採用しています。曲名は『甘美音律(作曲/櫻井由梨)』『甘美浪漫(作曲/河西祐季)』『和洋折衷アラモード(作曲/高田勇児)』となっています。作詞は全てメンバーである山田杏菜が行い、ダンスの振り付けは同じくメンバーである見目詩織が担当しました。CD収録を行い、パフォーマンスも行っていくことに決まっています。

宣伝用ポスター

アイドルプロジェクトという研究

が決まってから、宣伝につかうポスターやSNS等のアイコンのデザインなどはすべて音楽文化デザイン学科音楽研究専修4年の清水花英さんをお願いすることになりました。広報や宣伝デザインは清水さんの卒業研究の一環ということもあり、制作されるデザインは清水さんのゼミの担当教員である野中先生のアドバイスを頂いています。見やすくわかりやすく、そして何よりコンセプトを生かした「和」のデザインにこだわりを追求したポスターを1年間作り上げてもらいました。また、アイドル募集のポスターをお願いし、内容やデザインの話をしている際に「せっかくならポスターのどこかに清水さんの名前を書いてはどうか」と提案し、『KOKEI』というペンネームをポスターの中に記載しています。



卒論研究発表会

2016年2月24日に音楽学の卒論研究発表会において、研究を

発表するとともに、『どるちえる』のライブも併せて行いました。ライブではオリジナル曲の初披露も行い、無事に成功を迎えることができました。また、ライブが終わり発表を終えようとしたところで、メンバーから私たち研究側に向けたサプライズで、『桜の栞(AKB48)』の歌をプレゼントしてくれました。『どるちえる』というアイドルグループを立ち上げ、アイドルをプロデュースすることの難しさをたくさん知りましたがその分、やりがいや感動をたくさん経験し身をもってアイドルの存在意義を考えられた2年間でした。このプロジェクトに参加してくれたメンバー、応援してくださった多くのファンの方に感謝しています。これからも『どるちえる』をよろしくお願ひします！



●いまい ゆうか 音楽情報・社会コースではフリーペーパー『んだ。』の制作にも力を入れました。
●いしい えりか コースの思い出は出版社にインターンシップに行ったことです。